

第6回Harima Blue-One(HB-1) 1型糖尿病患者友の会 会報



＜実施日＞

平成29年9月2日(土曜日)13時30分～16時40分

＜対象＞1型糖尿病患者とその家族 約32名

＜会場＞姫路・西はりま地場産業センター 9階

＜実施内容＞

＜会費＞

・加古川中央市民病院 ・参加者500円(家族は不要・年間500円)

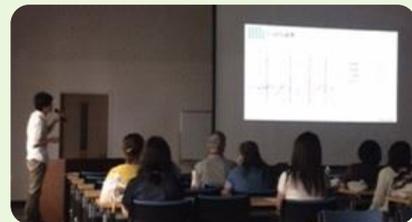
播悠介医師より講義
グループフリーディスカッション

・情報提供



播医師による講義

「新しい血糖モニタリング器(FGM:フラッシュグルコースモニタリングについて)」の講義がありました。患者さんの負担が少なく、血糖変動をグラフで可視化出来ることによって、インスリン治療のサポートに役立つことを教えてくださいました。また9月からは、患者さん自身で血糖をモニタリング出来る、機種が採用予定となる良い情報も知る事が出来ました。会場の皆様からも、新しい血糖モニタリング器について多くの質問がありました。



グループディスカッション

- ①インスリンポンプ
- ②恋愛・結婚・妊娠・出産
- ③趣味・スポーツ
- ④フリー
- ⑤家族・友人
- ⑥カーボカウント

テーマ別にグループに分かれ、自由に話し合いを行いました。参加者からは日頃の想いを共有出来たり、疑問が解決、また新たな低血糖に対する対処法などを学ぶことが出来たなどの声を聞くことが出来ました。

グループディスカッションで出た意見



<インスリンポンプ>

- ・基本的にはペン型注射器を使いこなしてから、ポンプを使用するとい。
- ・飲み会後の翌朝などは血糖値が高い。脂肪分の影響か・・・
- ・マラソン経験者や今後経験予定者などもおり、趣味の満喫に繋がっている。

<恋愛・結婚・妊娠・出産>

- ・今回悩んでいる人に対して少しでも力になればいいと思い参加した。
- ・結婚出来たのは、相手の理解があってこそであると思い、感謝している。

<趣味・スポーツ>

- ・幅広い年代が集まり、自由な話合いの場となった。
- ・疾患歴が浅く、糖質を食べたらダメであると思っていたが、違うということがわかり勉強となった。

<フリー>

- ・低血糖対策が中心となった場であった。オロナミンCが量も調節しやすく便利である。
- ・適度に血糖を上げたいときは、豆乳などを飲んでいる。

<家族・友人>

- ・子供の成長は日々変わる。どのような目線で守っていけばいいか。自立を促したいが、親心はいつまでたっても親心。フォローの仕方が難しい。

<カーボカウント>

- ・夜間低血糖についての話しが出た。同じ食品でも種類が変わると血糖変動が変わる。
- ・ある程度は自己流も大切!



第8回Harima Blue-One(HB-1)
1型糖尿病患者友の会
平成30年9月1日予定です